

【高等学校用】

令和6年度学校評価 結果・学校関係者評価

様式1（高等学校）

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀県立佐賀商業高等学校 定時制課程
-----	--------------------

1 前年度 評価結果の概要	・全体的には良好であるが、年度末にかけての出席率の低下を防ぐ対策が必要。
------------------	--------------------------------------

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	〇中部地区の定時制高校として、これからのビジネスに必要な知識と技術の取得を通じ、地域社会に貢献できる人材を育成する。
----------------------------	--

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー	4 本年度の重点目標	・心身ともに健康で逞しい生徒の育成 ・安全安心な学校づくり ・主体的な学びと判断力の育成 ・様々な経験の場の創出 ・地域とともに生きる学校づくり
	〇自分の将来の進路を真剣に考え、意欲的に学習に取り組むことができる生徒 〇「働きながら学ぶ」という定時制の生徒としての自覚を持ち、しっかりとした職業観を身につけようという意思のある生徒 〇豊かな心を持ち、他者への思いやりがあり、他者と協働することができるなど、社会で生活するための能力をさらに伸ばそうとする姿勢の生徒	社会人として活躍する力を身につけ、望ましい職業観や勤労観を育成する教育を行うために、就職系列、進学系列、教養系列の3つの系列で複数の選択科目を設定しています。それぞれの進路希望に応じた科目を選択できるようにし、生徒が進路実現に向け主体的に学ぶことができる教育を行います。	〇授業等を通して、知識・技能の習得を目指します。 〇課題解決のための実践的な学習を通して、課題対応力を身につけます。 〇教育活動を通して、他者と協働する中で、協働性を身につけます。 〇情報モラル教育等を通して、規範意識とモラル・マナーを身につけます。 〇多様性・多文化理解を通して、共生力を身につけます。 〇学習活動や各種検定取得への挑戦を通して、主体性と自己肯定感を身につけます。 〇勉強と仕事の両立を通して、自己管理能力を身につけます。		

5 重点取組内容・成果指標	中間評価	最終評価
---------------	------	------

(1)共通評価項目										
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	〇基礎学力の向上	〇学びの基礎診断テストの平均GTZ(学習到達ゾーン)が、昨年度より向上した生徒の割合を40%以上とする。 〇主体的で対話的な深い学びとなる授業改善を行い、「調査研究やプレゼン、話し合いなどを通して学習への意欲が高まった」と答えた生徒を50%以上とする。	・9月を学力強化月間とし、国語・数学・英語の主要3教科を重点的に指導を行う。 ・シラバスの見直しや改善を通して、生徒が主体的にかつ深い学びができるような授業改善に取り組む。	A	・学びの基礎診断テストを実施し、昨年度より向上した割合が63%で数値目標の40%以上を達成することができた。 ・特に「総合的な探究の時間」においては、生徒が主体的に取り組む様子が顕著である。	A	・学びの基礎診断テストに対する数値目標を達成することができた。次年度は、向上する数値がさらに伸ばせるように取り組んでいきたい。 ・主体的で対話的な深い学びに対するアンケートを実施した結果、「学習への意欲が高まった」と答えた生徒の割合が72%で、目標値の50%以上を上回った。	A	・「学習意欲の高まり」の目標を大幅に達成できていて素晴らしい。この取り組みをさらに進めてほしい。 ・基礎力診断テストも目標を達成できていることは指導の成果と思う。	
	〇自己実現のために検定取得の推奨	〇検定取得に対する意欲を高め、受験者の合格率を前年度よりも向上させる。 〇学ぶ楽しみを見つけ、生涯学習の意義を理解する。	・科目指導の中で経済の仕組みや情報社会のしくみについて理解させ、個に応じて検定合格のための支援を行う。	A	・検定取得については、受験指導途上であるため評価は見込みであるが、取組状況や生徒の学習意欲は十分である。	A	・検定取得については、日々の授業で、進路意識の高揚と教育課程での位置付けを説明し、取得奨励を行ってきたため、本年度は昨年より十分に効果が上がった(合格率61.3%となり前年比+5%)。	A	・合格率も向上しており、生徒の意欲を高める指導の効果が出ている。引き続き注力してほしい。 ・検定挑戦への結果が出て、生徒の自信にもつながったと思う。	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	〇他者を思いやることの大切さに気づく生徒を80%以上とする。	・スクールカウンセラーによる心の授業や、各種講演会を通して、思いやりの心を持つことの大切さを伝える。 ・性に関する講演を実施する。	A	・スクールカウンセラーによる心の授業を実施した。 ・エイズ予防講演会、性教育講演会を実施した。	A	・他者を思いやることを配慮した言葉遣いや行動を心掛けている生徒の割合は目標である80%を超えることができた。ただ、言葉使い等には気を付けているにもかかわらず、相手に不快な思いをさせてしまっているような状況が散見される。	A	・個々の生活環境が違う中、大きなトラブルもなく過ごせていると思う。 ・他者に配慮した対応は難しいが、継続的な指導を頑張っていただきたい。 ・今後は目標を引き上げ、さらに向上を目指してほしい。	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	〇いじめ防止等について組織的対応ができていと回答した教員の割合を95%以上とする。	いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行い、いじめの対応についての研修・会議(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)を年間に2回以上行う。	A	・5月に第1回いじめ体罰等対策拡大委員会を行い、その中でいじめ防止の基本方針を確認した。 ・6月に職員会議でいじめの対応に関して、全職員で対応の仕方を確認した。年度内にも一度、全職員でいじめの対応の仕方を確認する予定である。 ・いじめ覚知・認知は今年度現時点で2件で、昨年度は4件であった。職員による見守りを継続して行っている。また集会の折に全学年に対して、いじめに対する注意喚起を行った。	A	・職員全員による見守りの継続や、集会の折に全学年に対するいじめに対する注意喚起を行ったこともあり、中間報告以降に新たないじめの認知・覚知はなかった。 ・いじめ防止等について組織的対応ができていと回答した教員の割合としては、目標としていた95%をほぼ達成することができた。	A	・学校全体でいじめの早期発見、ここへの対応の取組がなされている。今後も早期発見対応ができるよう、気を緩めることなく継続していただきたい。 ・昨年よりも件数が減少していることは素晴らしいが、小さなことから再発の可能性もあるので、引き続き見守りをお願いしたい。	
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒を90%以上とする。	・ホームルーム活動等で給食を題材とした指導や食育講話を実施する。 ・「食育だより」「保健だより」、掲示板や電子黒板を活用し情報提供する。 ・担任と連携し、生徒の食習慣や生活習慣を把握する。 ・学校医、保護者、関係機関と連携し、健康教育や保健指導を実施する。	A	・給食の時間等で給食を題材とした指導を行っている。 ・「食育だより」「保健だより」を発行した。 ・学校歯科医による「歯科講話」を実施した。	A	・「健康に食事は大切である」と考える生徒は95%以上であった。 ・企業の方から佐賀県産小麦について学んだ。	A	・生徒の95%異常が健康と職について理解を深めていることは素晴らしい。 ・食を通じて授業とは別の時間の共有ができて、生徒間の心身の育成にもつながっているとと思う。	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 〇年休をはじめ、様々な休暇やテレワークを職員が活用することでワークライフバランスの促進につとめ、年休等を14日以上取得した職員の割合を60%以上とする。	・業務のICT化を一段と進め、効率化、ペーパーレス化を促進する。 ・休暇についての正確な情報を職員に提供し、適切な休暇を取得できるよう指導する。	A	・11月時点での時間外在校等時間で45時間を超えた職員が1名(1月のみ)となった。 ・年休取得者の割合が67%となり、目標を達成した。また、他の休暇も取りやすい雰囲気づくりに努め、特休なども付与された職員のほとんどが取得している。	A	・日報や学校だよりについてはPDFファイルによる配信とし、アンケート等もWebでの回答も可能とすることでペーパーレス化を進めた。 ・令和6年の年休14日以上取得者の割合は83%となり、目標を十分に達成できた。また、特休なども取得できる雰囲気をつくることができた。	A	・ペーパーレス化やWeb配信や回答は大賛成である。取り組みを続けてほしい。 ・年休取得は進んでいるので、引き続き取り組んでほしい。職員の休暇はしっかり取得していただき、安定した気持ちで指導に当たっていただきたい。	
●特別支援教育の充実	●教職員の専門性の向上と共通理解の深化	●情報交換会等や研修会の内容を個々の生徒への対応に生かすことができたと感じる職員を80%以上とする。 ●教育相談担当者会を月2回以上実施する。	・毎月の生徒情報交換会を充実させる。 ・教育相談担当者会での情報交換及び共有を充実させる。 ・生徒が職員に相談しやすい雰囲気づくりを心がける。 ・職員研修で専門性を向上を図る。	A	・教育相談担当者会は17回実施(11月末時点)充実した情報交換ができています。 ・毎月の生徒情報交換会も活発に行われ意義のあるものになっている。 ・相談しやすい雰囲気を作れている。	A	・教育相談担当者会は23回実施(2月17日時点)充実した情報交換ができています。 ・毎月の生徒情報交換会も活発に行われ生徒への対応に生かすことができたと感じる職員90%と意義のあるものになっている。 ・相談しやすいと答えた生徒・保護者80%	A	・情報交換会や相談担当者会を、時間をやりくりして多く組み込んでいただき、個々の生徒に応じた対応がなされており、結果がしっかり出ていると思う。 ・相談しやすいと思っていない生徒・保護者の割合20%の対応を考えてほしい。	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○キャリア教育	○キャリア教育の充実	○年度内に卒業予定者全員の進学先及び就職先を決定する。 ○進路意識向上に資する卒業生等の講演や説明会を2回以上開催する。	・担任や生徒や保護者との情報共有を密に行い、各生徒の進路目標に応じた情報収集と情報提供を行う。 ・本校卒業生や学校関係者、ハローワークなどと連携し、生徒が身近に実感できる講演、説明会を実施する。	A	・卒業予定者の進路決定は100%であり、今後は卒業まで、職業人としての意識向上のために、資質と能力の向上を行いたい。 ・進路講演会等の実施は充分に実施することが出来た(卒業生講話・県内専修学校説明会・SSFガイドダンス・県内進路説明会、サボステワークショップ)	A	・進路決定については、目標通り100%を達成したが、どうしても個別指導が必要な生徒がおり、主事が個別対応してきたが、今後は組織的な対応の必要がある。また、就職支援員の全定横断としての勤務をお願いしたいものである。 ・外部連携も含めて個別案件として対応した。	A	・希望進路の決定に向け、外部機関との連携にもよく取り組まれている。生徒の意欲と先生方のサポートの成果だと思う。 ・組織的な体制をきちんととれるように取り組んでほしい。
★唯一無二の誇り高き学校作り	★修学旅行プロジェクトⅠ・Ⅱの実施	★事後アンケートにおいて生徒の満足度を80%以上とする。 ★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合を65%以上、職員の割合を70%以上とする。	・生徒自身が行き先や日程等について調査、研究し、企画案を作成する。 ・修学旅行プランについてのプレゼンテーションを実施し、行き先を決定する。 ・修学旅行報告会を実施する。	A	・生徒が企画した修学旅行を実施し、事後アンケートでは、大変良かった・良かったを合わせて100%を達成することができた。 ・修学旅行報告会のためにプレゼンテーションを作成し、報告会を実施することができた。	A	・修学旅行事後アンケートで、大変良かった・良かったと答えた生徒が100%で、生徒の満足度は高かった。 ・生徒自身で企画・調査・研究を行い、12月に報告会を行った。報告会も全員で協力して実施することができた。 ・2年生では各自プレゼンテーションを作成し、クラスで発表を行い、次年度の行き先が決定された。 ・中学生に勧めることができると肯定的に答えた生徒の割合が84%、職員が85%と目標を大きく上回ることができた。	A	・修学旅行プロジェクトは、生徒が主体的にかかわることで満足感が高まるだけでなく、生徒の自信や自己肯定感につながる取り組みだと思う。 ・しっかり長期での計画が実施へとつながるプロジェクトが工夫されていて、生徒の達成感は素晴らしいものと思う。

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育 ★・・・唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・ 次年度への展望	・今年度の目標に対して、すべての項目で十分達成できたと考えられる。 ・多様な生徒に対する教科指導・生徒支援両面での対応は今後も重みを増すもの考えられるため、今後も一層の職員間の情報共有や意思統一を図り、指導を行っていく。
-----------------------	---